

令和元年10月21日

田川市議会議長 北山隆之 殿

田川市議会議員 陸田孝則

議員研修・視察等実施報告書

下記のとおり ~~研修会に出席~~ 調査(視察)を実施したので、その成果を報告します。

記

- | | |
|-------|---|
| 1 期 間 | 令和元年10月16日(水)～令和元年10月18日(金) |
| 2 場 所 | 岡山県 浅口市(1日目)
大阪府 池田市(2日目) |
| 3 内 容 | 1日目 浅口市 無料市営バスの運行について
2日目 池田市 総合窓口業務について |
| 4 詳 細 | 別紙のとおり |
| 5 所 感 | 別紙のとおり |

※ 本文のうち、「研修会に出席」又は「調査(視察)を実施」のいずれかを一線で消すこと。

議員研修・視察等実施報告書（別紙）

<p>4 詳 細</p>	<p>1 日目 浅口市 無料市営バスの運行について</p> <p>(1) 日 時 令和元年10月16日（水）13時30分～</p> <p>(2) 場 所 浅口市役所</p> <p>(3) 内 容 浅口市の概要は、人口34,806人、議員定数16名、可住地面積66.46㎥で、2006年（平成18年）に浅口郡鴨方町、金光町、寄島町の3町が合併して発足し、倉敷市と広島県福山市のベッドタウンとなっている。 無料市営バスの運行については、本市同様に高齢化が進み、4人に1人が65歳以上の高齢者で、既存の路線バスは幹線道路のみであるため、通院や買い物等に困難で、空白地域の不便を最小化する施策を打ち出し、停車間隔1分から2分と極めて短くして、きめ細かな「浅口ふれあい号」を週3回公共交通として運行しているが、驚くことに料金は無料である。 運行経費は、17,422,000円で、年間利用者数は、延べ30,239人となっている。</p> <p>2 日目 池田市 総合窓口業務について</p> <p>(1) 日 時 令和元年10月17日（木）13時30分～</p> <p>(2) 場 所 池田市役所</p> <p>(3) 内 容 池田市の概要は、人口103,607人、議員定数22名、可住地面積16.60㎥で、ダイハツ工業本社及び世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を開発した安藤百福の記念館がある。 総合窓口業務については、各種証明の交付や申請書届出等の手続時間短縮を目指し、安定したサービス向上の提供を行っている。 私どもも時々議論しているワンストップサービスがあるが、諸手続きが効率よく完結できる、すなわち役所での滞在時間を短くするというコンセプトを位置づけ、開設をしている。 また、平成27年度からは、業務の一部を民間に委託して人件費の圧縮を図り、また、「民でできるものは民で、官にしかできないものは官で」を推進している結果、職員31名から14名と激減しているが、市民満足度は特段の問題なく推移している。 なお、委託先は、プロポーザル方式で決定し、1年ごとの契約だが、特に指摘事項がなければ、最大5年間の延長が可能との説明があった。</p>
<p>5 所 感</p>	<p>まとめとして、両市ともに地域の市民ニーズの取り込みの一つとして、詳細な市民アンケートを随時行っていて、時代に応じた適切な施策としている。</p> <p>しかるに、市民アンケートには個人情報に抵触するかもしれない内容もあるが、本市に比べて市民意識、文化の違いか、シリアスとはならないのは考えさせられた。</p>